

学校関係者評価報告書

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学校経営</p> <p>「毎月の『たより』を教室掲示しているか」が95%、「積極的に教育活動を公開しているか」が88%であり、学校・教職員が努力すれば100%に達するものと思われる。</p> <p>「PTA総会出席率19%」、「保護者懇談会出席率97%」について、保護者の意識や保護者同士でのボランティア的協力性が低下している。出席率向上のための保護者への啓蒙が必要ではないか。</p> <p>「図書館は利用しやすい環境に整っているか」のアンケートに、教職員と生徒の達成率では10%の差があるのは問題ではないか。</p> <p>(2) 学習指導</p> <p>教育課程については、進路等への配慮が適切にされていると思う。</p> <p>授業改善のための校内研修の在り方は検討の余地があると思われる。</p> <p>生徒の学力向上について、教職員が手応えを感じていることは喜ばしい。</p> <p>(3) 工業教育</p> <p>資格取得等、積極的に挑戦し実績を上げておられる。</p> <p>生徒に適切な勤労観が植え付けられていることは評価に値する。職場見学やインターンシップが役立っており好ましい。</p> <p>ものづくり推進への取組は評価に値する。</p> <p>各工業科でいろいろなコンテストに挑戦し、すばらしい結果を残されている。今後も引き続き挑戦され、八工の名声を高めていただきたい。</p> <p>3年連続で神山地区公民館に出前授業に来ていただいている。子どもたちにいろいろな体験をさせていただきありがたい。</p> <p>(4) 特別活動</p> <p>ボランティア活動について、生徒と保護者・地域住民の評価に達成率の差があるのを疑問に思う。生徒の意識を向上させることができれば、さらに保護者や地域の評価も上がると思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度3月よりホームページ更新回数を随分増加させた。各種「たより」配布時だけでなく、機会あるごとに、担当者から職員朝礼等で教職員にお願いしていきたい。 ・ 本年度第2回PTA理事会以降、PTA役員の方々にPTA活動活性化のための方策案を考えていただいている。3月に開催する第4回PTA理事会で提出された方策案について検討をしていく。 ・ 図書館内の特設コーナーの設置や掲示物を工夫し、生徒の利用しやすい環境整備を進めていきたい。 ・ 学科再編があり、教育課程を見直している。創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開していきたい。 ・ 観点別学習状況の評価を教育課程全体の中で推進し、学習評価を個々の授業の改善につなげることが、学校における教育活動全体の改善につながっていくと考えている。 ・ エスタブリッシュメントテストの実施など、継続的な指導とともに、新たな方策を模索していきたい。 ・ 基礎的な検定だけでなく、難易度の高い資格にも挑戦できるよう指導する。 ・ インターンシップ、企業見学や各種講演会の実施により、勤労観を育み離職率が低下するよう寄与したい。 ・ ものづくりコンテストにおいての各科の活躍は顕著であった。来年度も引き続き各取組を充実させていきたい。 ・ 出前授業、各種イベントへの参加を引き続き積極的に参加し、取組を知っていただけるよう情報発信に努めたい。 ・ 教室のボランティア募集コーナーは一定の効果을上げている。内容等を工夫してさらに参加者の増加を期待したい。また、地域を担う高校生育成事業でのボランティア経験がその後のボランティア活動へと広がるよう啓発していきたい。

<p>(5) 生徒指導</p> <p>保護者と、欠席・遅刻・早退の連携はできている状況が伺えるが、一部常習的に遅刻する生徒に対し指導が必要である。社会に出れば通用しないことを指導する必要があるのではないか。</p> <p>高校生らしい身だしなみについての高い評価は納得できる。生徒は服装規定をよく守っていると思うし、地域住民として、生徒たちの表情や態度、雰囲気など落ち着きがあり好感が持てる。</p> <p>交通ルールについては、ほぼ守られているように思われ、地域住民の評価は多少厳しい。</p> <p>学校に来るまでに出会う人全員に挨拶をすることはできないと思うし、地域住民には挨拶がたいのか評価は73%であるが、これでも十分高い数値だとは思う。</p> <p>(6) 人権教育</p> <p>人権だよりは、分量・内容とも適切で読みやすいと思う。このたよりを中核にして取組の充実をお願いしたい。</p> <p>いじめのアンケートの結果、昨年よりも件数が下がっている、ゼロになることを期待する。生徒が教師に悩みを相談しやすい環境作りに努めてもらいたい。</p> <p>(7) 進路指導</p> <p>近年、就職活動は厳しくなっており、1学年より生徒個々に将来の目標を立ててもらい、目標に向かって就活教育を推進する必要があると思われる。</p> <p>工業高校で最も重視してほしい領域であるし、その成果も大いにPRしてほしい。</p> <p>「先生と進路に関する話をよく行いますか？」が、低いので改善が必要である。</p> <p>卒業後3年間、離職状況等を含めた調査をして、進路指導に役立ててはどうか。</p> <p>(8) 学校保健</p> <p>保健は地道で継続した取組が求められるが、その通り実践されている。</p> <p>保健だよりにもう少し工夫（見やすく・読みやすく）がほしいように思う。</p> <p>(9) 学校安全</p> <p>義務教育との連携もぜひお願いしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遅刻・欠席・早退の防止として、今後も、ホームルーム担任を中心とした個別指導と入室届けの徹底を行い、生徒へ自覚を促していきたい。また、家庭との連携を密にし、基本的な生活習慣が身につくよう保護者に協力をお願いしていきたい。 ・ 非行防止教室や全校集会等で繰り返し指導を行い、規範意識を高めていきたい。また、校門指導や登校指導をとおして、交通安全指導の徹底を行いたい。 ・ 挨拶については、毎朝の校門での挨拶運動を継続し、授業や部活動での挨拶の徹底も行っていきたい。 ・ 人権だよりは生徒の活動を中心に載せていたが、今年度より内容を少し変え、人権意識の向上に努めた。来年度もより内容を精選し継続させたい。 ・ いじめゼロを目指して、きめの細かい対応ができるように努めたい。生徒が悩みを相談しやすい環境になるよう工夫したい。 ・ 1年次から工業探究で進路設計をしているが、進路講話等を通して更に意識を高めていきたい。 ・ 地域の各種メディアやホームページ等を利用して、なるべく多くの情報発信をしていきたい。 ・ 気軽に相談しやすい進路指導室を心掛け、他の教員にも面談等の充実を働きかけたい。 ・ 離職状況調査で卒業生の動向を把握し、就職活動等に活用していき、相談等個別に対応していきたい。 ・ 各月のテーマや目標に沿って内容を精選し、見やすく、読みやすい保健だよりの作成を心がけていきたい。 ・ 昨年度「学校総合防災力強化推進事業」による研究の中で、本校近隣の幼稚園や小学校等の連携ができるよう連絡を取ってきた。本年度、本校第1教棟が市の津波避難ビルに指定され、学校近隣の自主防災会との接触も取れた。今後、近隣小学校の津波避難訓練に本校も合同で実施したり、地域自主防災会の防災訓練にできるだけ協力していきたい。
--	---

<p>(9) 学校行政 接遇・応対等は丁寧である。</p> <p>2 重点努力目標について 各種資格取得・検定試験合格の実績や、ものづくりコンテストの全国大会・県大会での上位入賞など、八工のよき伝統が根付いており、目標達成に向け、教職員一丸となって真摯に取り組んでいることが伺える。</p> <p>3 説明・公表について 目標の状況説明や今後の改善策の説明は分かりやすくよい。分量・内容とも適切である。</p> <p>4 学校運営全般について 生徒が数多く活躍している姿に出会ったり、地方紙で目にしたりする。学校が地域と連携して取り組む姿勢がよく伝わりうれしく思う。 地域に開かれた明るい校風の学校であり、よりよい学校を創ろうとする意欲を強く感じる。 学科再編対応が難しいと思われるが、今後も評価のために生徒へ無理な押しつけをすることがないよう、本来の評価の在り方をお願いしたい。 総じて学校の評価は厳しいように思う。目標を達成した時は、それなりの評価でもいいのではないだろうか。 少しでも入学を希望する生徒が増えるよう、中学校の進路指導の先生や保護者に対して、工業高校の良さをプレゼンテーションなどを行い、生徒の確保に努力されたい。 保護者や中学校の進路指導が上層教育（大学進学）できる学校選択をされているのではいか。工業高校も勉強して大学進学を希望する生徒については、道を開けてあげる必要があるのではないか。 「本校に入学させてよかったですか？」という保護者アンケートの達成率93%は、現在の学校の諸所の取組が認められていることの証である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も引き続き、よりよい接遇や校内美化、整備等に取り組んでいきたい。 ・ 今後とも重点努力目標を掲げ、ものづくりを通して人をつくり、信頼される学校となれるよう、生徒と教職員が一丸となり、保護者や地域の方々に支援を受けながら努力していきたい。 ・ 今後も分かりやすくタイムリーな情報発信に努め、適切な説明・公表を心がけていきたい。 ・ 工業祭・バラ展などの学校行事や地域のイベントなどを通して、ものづくりの教育資産を活用し、地域に開かれ、信頼される学校にしていきたい。 ・ 学校評価を参考にし、学校教育の改善につながる活用を考えている。生徒の実状にも十分考慮しながら改善に努めたい。評価については、委員の意見を参考に評価方法の見直しも考えていきたい。 ・ 入学を希望する生徒の確保を目指し、引き続き、一日体験入学、中学校説明会等においてきめ細かい説明を行いたい。 ・ 大学進学希望者が減少しているが、引き続き進学指導を充実させ、就職も進学もできる学校として地域から評価を受けられるように努力したい。 ・ 学校運営全般について、高い成果を得ていることが、保護者の信頼につながっている。より良い学校運営を今後も目指し、鋭意努力したい。
--	---